

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【 事中・事後評価 】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの減量・リサイクルの推進		事業実施主体	市
	事務事業	家庭系ごみ有料化事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	家庭系ごみのより一層の減量・資源化、ごみ処理にかかる負担の公平化、ごみに責任をもつ社会の実現を目指し、平成16年10月から、定期収集家庭ごみのうち、「燃やせるごみ」「破碎ごみ」について、大(40リットル相当)・中(30リットル相当)・小(20リットル相当)・特小(10リットル相当)の4種類の有料指定収集袋による回収を開始した。また、平成28年10月から、高齢者等ごみ排出量の少ない世帯の利便性の向上を目指し、従来の4種類に5リットル相当の「超特小」を加えて、5種類での運用を開始した。	
	この家庭系ごみ有料化事業の実施にあたって、5種類の有料指定収集袋を活用し、その製造、収納事務(スーパーなどの店舗における一般廃棄物処理手数料収納事務)及び配送・在庫管理に関する事務を行う。	
年度概要	家庭系ごみ有料化事業の実施にあたって使用する有料指定収集袋につき、その製造、収納事務(スーパーなどの店舗における一般廃棄物処理手数料収納事務)及び配送・在庫管理に関する事務を行う。 また、引き続き外装袋に広告を掲載し、特定財源の確保にも努める。	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	ごみを排出する市内の全家庭
意図(どのような状態にしたいか)	各家庭がごみを排出する際に、有料指定収集袋を購入し、使用してもらう。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
有料指定収集袋作製枚数(特小換算)	枚	43,975,000	46,225,000	40,410,000	43,000,000	43,000,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4	
有料指定収集袋使用枚数(特小換算)	枚	目標値	43,975,000	43,000,000	43,000,000	43,000,000	43,000,000	
		実績値	46,916,250	45,097,500	45,050,250			
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 95.2%	
家庭ごみの減量化に伴い、袋の作製・使用枚数は減となる。令和3年度の目標達成度は、前年度から0.1ポイント増の95.2パーセントとなった。	(目標達成度)							33点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4	
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値						
		実績値						
(目標達成度)							(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	161,559	107,231	177,743	165,918
(事業費)	[円]	154,730	100,497	170,948	155,348
(職員人件費)	[円]	6,829	6,734	6,795	10,570

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成28年10月から5リットル相当の「超特小」を加えた5種類での運用により、高齢者等の家庭ごみ排出量の少ない世帯の利便性の向上が図られたため、引き続き事業を実施した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

平成28年度に超特小を導入し、「大」、「中」、「小」、「特小」、「超特小」の5種類とした指定収集袋を活用した、家庭系ごみ有料化事業の円滑かつ適正な運用を継続することにより、利便性の向上も図りながら引き続き、家庭系ごみの減量・資源化を推進する。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの減量・リサイクルの推進		事業実施主体	市
	事務事業	ごみ減量・資源化啓発事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「ごみ分別ガイドブック」・「ごみ収集カレンダー」、小学校社会科副読本「きれいな高松に~くらしとごみ~」の作製・配布に加え、平成28年11月から、新たに、スマートフォン・タブレット端末利用者に向けての「ごみ分別アプリ」の配信を開始する等により、ごみの減量・リサイクルを推進するとともに、高松市リサイクル推進員の各校区への配置による地域ぐるみの主体的なリサイクルの推進に取り組む。		
年度の概要	ごみ分別ガイドブック・ごみ収集カレンダー（主に広報紙を活用した周知）、ごみ分別アプリの配信等により、ごみの減量・リサイクルを推進するとともに、高松市リサイクル推進員の各校区への配置による地域ぐるみの主体的なリサイクルの推進に取り組む。		
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	ごみを排出する市内の全家庭
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ分別ガイドブックを配布することにより、各家庭が正しいごみの分別方法を理解し、資源物は資源物、有害ごみは有害ごみ、燃やせるごみは燃やせるごみなどのように正しく分別してごみを出してもらおう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
ごみ分別ガイドブック配布数	冊	23,000	20,000	20,000	24,000	24,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標	プラスチック容器包装ごみの再資源化割合	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	90.71	87.82	87.79		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） プラスチック容器包装ごみの再資源化割合は、中期目標値・今年度目標値ともに、90パーセントとしている。令和3年度は目標を2.2パーセント下回った。							(達成度) 97.5%
								34点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,411	10,072	10,102	8,834
（事業費）	[円]	3,685	1,468	1,419	1,284
（職員人件費）	[円]	8,726	8,604	8,683	7,550

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ごみ分別ガイドブック、ごみ収集カレンダー、ごみ分別アプリ等により、ごみの減量・リサイクルを推進した。カレンダーを広報紙に掲載したことを周知してきたが、未だ通年版カレンダーを必要とする人が多いことが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ごみ分別ガイドブック・ごみ収集カレンダー（広報紙掲載）の作製・配布、リサイクル推進員等事業に加え、平成28年度から配信を開始したごみ分別アプリについては、令和3年に英語、令和4年1月から中国語での配信を開始し、多言語対応を行うことにより、増加する外国人住民の利便性を高めることで更なるごみの減量・リサイクルの推進に取り組んでいく。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進	電話番号	087-839-2393	
	基本事業	ごみの減量・リサイクルの推進	事業実施主体		
	事務事業	ごみ再資源化事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	環境への負荷の低減と限りある資源の有効利用による持続可能な「循環型社会」を形成していくために、ごみの発生抑制やリサイクルをすすめることが重要となり、一人ひとりがごみに対する意識を高め、ごみに責任を持つことが求められている。この事業は、家庭から出された缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等のごみについて、再資源化を行うための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引渡し、紙類等については処理にかかる経費の負担はなし)、缶・びん・ペットボトル、紙類など有価にて売払いで出来るものは、専門業者に売却している。		
年度概要	家庭から出された缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引渡し、缶・びん・ペットボトル、紙類など有価にて売払いで出来るものは専門業者に売却する事業を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	家庭から出された資源ごみ
意図(どのような状態にしたいか)	家庭から分別して出された資源ごみを再資源化することにより、環境への負荷の低減と限りある資源の有効活用を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
缶・びん・ペットボトル中間処理量	k g	2,640,350	2,787,420	2,370,580	2,600,000	2,600,000
プラスチック中間処理量	k g	3,372,880	3,538,110	3,419,860	3,300,000	3,300,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
缶・びん・ペットボトル資源化量	k g	目標値	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000
		実績値	2,359,680	2,439,549	2,266,610		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 家庭ごみ中の資源化の推進による資源ごみ量の増加要因と、家庭ごみ全体の減量化の推進による資源ごみ量の減少要因から、缶・びん・ペットボトルの資源化量は現状数量で維持する。なお、令和3年度は目標を達成した。						(達成度) 100.7% 35点	
プラスチック資源化量	k g	目標値	3,026,000	3,026,000	3,026,000	3,026,000	3,026,000
		実績値	3,059,539	3,107,166	3,002,350		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 家庭ごみ中の資源化の推進による資源ごみ量の増加要因と、家庭ごみ全体の減量化の推進による資源ごみ量の減少要因から、プラスチック容器包装の資源化量は現状数量で維持する。なお、令和3年度は目標を少し下回った。						(達成度) 99.2% 34点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	187,631	198,161	190,129	195,764
(事業費)	[千円]	180,802	191,427	183,334	186,704
(職員人件費)	[千円]	6,829	6,734	6,795	9,060

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

家庭から出された缶・びん・ペットボトル、プラスチック容器包装、紙類等の資源ごみの中間処理を行い、再資源化を推進した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、家庭から出された缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等資源ごみの中間処理を行い、再資源化を推進する。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境業務課
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-834-0389
	基本事業	ごみの減量・リサイクルの推進		事業実施主体	市
	事務事業	小型家電等リサイクル推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	支所・出張所や家電販売店及び「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」などのイベントに回収ボックスを設置して、使用済小型家電 3 2 品目を回収する。また、南部・西部クリーンセンターの委託業者の協力を得て、ピックアップ回収を実施する。		
年度概要	小型家電リサイクル事業の普及・啓発事業のため、チラシの作成及び配布を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 ( 法律による実施義務有 )


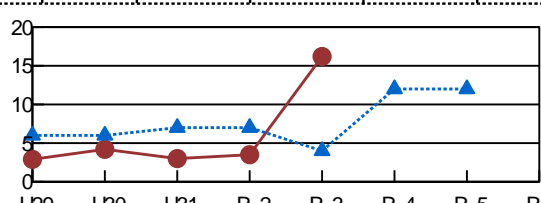
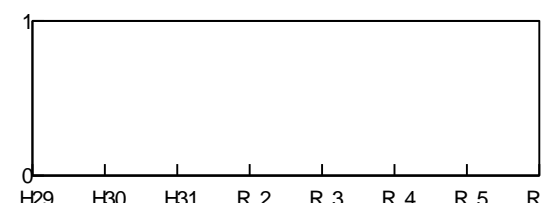
【事業の目的】

対象 ( 何を )	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要になった携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機等の使用済小型家電 3 2 品目。</li> <li>家庭から出る破碎ごみから回収された使用済小型家電 3 2 品目。</li> </ul>
意図 ( どのような状態にしたいか )	使用済小型家電の回収を実施することにより、レアメタルを含む有用な金属のリサイクルを推進する。

【事業の活動】

活動指標名 ( 具体的にどのような活動をしたか )	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
住民説明会等の実施回数	回	16	14	2	13	13

【事業の成果】

成果指標名 ( どのような成果が得られたか )	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
年間回収量	トン	目標値	7	7	4	12	12
		実績値	3	3.5	16.2		
成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか ) 令和 3 年 4 月から回収品目にパソコンなど 1 1 品目を追加したことにより、回収量は約 1 6 . 2 トンとなり、前年度より大幅に増加した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」などのイベント等は中止となった。	( 目標達成度 )						( 達成度 ) 405.0% 35点
成果指標名 ( どのような成果が得られたか )	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度 ( 目標に対してどれだけ達成できたか )	( 目標達成度 )					( 達成度 )	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3 年度 ( 決算 )	令和 2 年度 ( 決算 )	令和 3 年度 ( 決算 )	令和 4 年度 ( 予算 )
トータルコスト	[ 円 ]	810	807	814	818
( 事業費 )	[ 円 ]	51	59	59	63
( 職員人件費 )	[ 円 ]	759	748	755	755

【評価】

評価ランク ( A ~ D )	<b>A</b>	今後の方向性 ( 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 )	<b>継続</b>
-----------------	----------	-----------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

市内 2 3 カ所に設置した回収ボックスによる回収や、南部クリーンセンター及び西部クリーンセンターで実施しているピックアップ回収など合計 1 6 , 1 9 6 . 9 キログラムの使用済小型家電を回収したことにより、希少金属の再資源化や埋立てごみの減量化に著実な効果があった。  
 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」などのイベント等は中止となった。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入 )

引き続き周知啓発を図り、一層の回収量増加に取り組むとともに、更なる回収対象品目の拡大についても検討する。